

鈴木ひとみ市政報告

ごあいさつ

酷暑といわれる暑い夏に、相次いだ豪雨。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

地球温暖化による異常気象が原因と報じられています。今後、災害の激甚化が予想されますが、多くの予算を投じたとしても、土木工事だけで土砂崩れや洪水を防ぐことには限界があります。

災害時に自らの命を守ること、そして暮らしや生業を早期に再建する道筋を考え、各種保険などを見直しておくことも重要ではないでしょうか。

一方で、温暖化の進行を少しでも遅らせる努力も欠かせません。莫大な電力を消費し熱を排出するIT機器やAI、日常的に頼りがちな自家用車など、利便性を追求してきた日々の暮らしを一度見つめ直してみませんか。

令和8年9月市議会定例会 一般通告質問から

「学びの多様化学校」開校に向けた準備状況と 今後の不登校児童生徒への対応 ～すべての子どもたちに学びの場を～

写真は令和9年度から「学びの多様化学校(仮称)」となる豊房小学校

今年4月、那古小学校と船形小学校が統合し「那古船形小学校」が開校しました。また、房南小学校は「まなびの杜房南小学校」、神余小学校は「まなびの杜神余分校」として、それぞれ小規模特認校として新たなスタートを切っています。

来年4月には、九重小・館野小・北条小が統合されて「北条小学校」に、豊房小・西岬小・館山小が統合されて「館山小学校」となり、房南中学校は館山中学校へ統合される予定です。

少子化に伴い学校再編が進む一方、学校に行きづらさを抱える子どもたちが増加しています。そうした子どもたちの豊かな学びの場の一つとして、豊房小学校の

跡地に「学びの多様化学校(仮称)」を開校する準備が進められています。

対象は小学1年生から中学3年生までの不登校・不登校傾向にある児童生徒で、個別面談を経て受け入れを判断します。入学希望の受付は10月までとなっていますが、期間にとらわれず、本人や保護者の不安や迷いに寄り添いながら随時相談に応じる方針です。

なお、既存の校内支援センターや、在籍校への復帰を目指す教育支援センターも継続して運営されます。学校への行きづらさを感じる背景は一人ひとり異なります。すべての子どもに寄り添った学びの場づくりを、今後も模索してまいります。